

ごあいさつ



ここに平成21年度当金庫の経営や活動の状況、業績を取りまとめましたので、よろしくご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度の国内経済は、リーマンショックによる世界的な経済危機も一段落し、中国を中心としたアジア向け輸出の増勢持続と景気対策による下支え効果を主因に一部に持ち直しの動きがみられたものの、中小企業の経営環境は依然として厳しく、家計の所得環境も改善がみられないなど、地域経済の格差がより鮮明となりました。

当地域呉市は、人口15万人以上の全国181都市の中では最も高齢化率が高いと言われており、人口減少や少子高齢化で商業の衰退は著しく、事業者数の減少に歯止めがかかりません。さらに昨今の経済状況によって中小企業経営、地域経済は一段と厳しい状況となっています。

一方、金融面においては、中小企業等金融円滑化法の施行や、貸金業法の改正、ゆうちょ銀行預入限度額の引き上げを含めた郵政民営化の見直しが議論されているほか、新たな決済手段としての電子記録債権が広がりを見せるなど、激変する金融環境への適切な対応が必要となっています。

こうした中、平成21年度の当金庫の業績は、収益面では減収増益となり前年度の損失から黒字回復いたしました。貸出は計画を下回るなど多くの課題が残されました。

今後は、業務の健全性、適切性を確保しつつ、当金庫が経営目標に掲げ取組んでいる「地域経済活性化の支援」を一步踏み込み、「地域の“仕事づくり・仕事ふやし”のサポート」に邁進してまいります。今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年7月

理事長

大年健二